



大人ってずるい！
ばくも早く大人になりたい。
そんなふうに、子どもたちが
将来を楽しみにする世界にしたい。

アジアの人口は多い、課題も多い、
でもより多くの民族がいる地域、
伝統や知恵の中に環境に
良いヒントも多いはず、
共有していきたい
40代女性

自分の暮らし、
毎日の積み重ねが
30年後を作ると思う
30代男性

30年後は
今と違う希望があると思う
プラスチックじゃないものを
使っていると思うし、
エネルギーも全然変わっていると思う
中学生

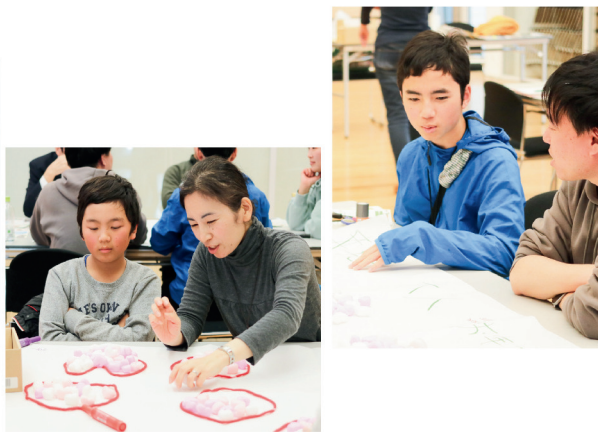
子たちが
大人になっても
人が安心して住める地球
小学生ママ

どの国にいても
平等な世界がいいな
小学生

新しいことだけを
求めるのではなく、
いろんな時代の
良いところを取り入れた
一番良い時代
40代男性

国境ってなんだろう？
先進国や途上国という
区切りってなんだろう？
平等に幸せだといいな
30代男性

子どもが少ない日本。
自分も子育ては経済的に大変なイメージ
そのイメージが和らいでいたういいなあ
20代女性



今日のワークでは、
皆さん自身で想像してもらいながら、
世界の現状を表す数字を、
ボールやヒモで可視化してみました。
皆さんの感想として
「なぜ、この数になっているんだろう」
「どうにかできないだろうか」と
出されたように、
環境問題や社会課題の解決策は、
きっといっぱいあります。
今回のワークが考える
きっかけになったら嬉しいです。



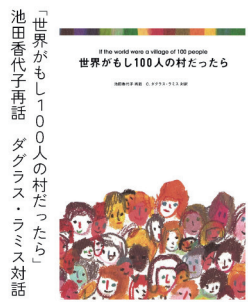
未来の環境を創る次世代のための講座
第3回「桃とエネルギーとシカファンと」
〜地球からの恵みを考えるワーク〜
ハケ岳SDGsコミュニティ運営委員・
リコージャパン勤務 田中伊代さん
制作 まりもりWEB制作
制作・発行 公益財団法人キープ協会
山梨県地球温暖化防止活動推進センター



皆さんは、子どもの頃、大人になるのが楽しみでしたか？
リコージャパン株式会社の田中さんが
高校生向けの授業で
「大人になるのが楽しみな人？」と問いかけたところ、
手を挙げたのはクラスでたったの1人。
手を挙げなかった生徒たちに理由を聞いてみると、
「大人って働かなきゃいけないんでしょ？」
働くのは大変で辛いイメージ」とのこと。
大人になることが「つまらなくて苦しい」と思っていたら、
勉強に身が入るはずもないし、
将来に希望を持つなんてさらに難しいですね。

子どもたちが未来に希望を抱けるようになるには、
まず、
大人の私たちが変わる必要があるのかもしれない。
「自分の仕事ってかっこいいな」と
胸を張れるような働き方をすること。
そして、
心から楽しんで働く姿を子どもたちに見せること。
そんな大人の背中を見たら、きっと子どもたちも
「大人っていいな」「未来が楽しみ」と
思えるようになるはずですよ。

今回は、
「世界がもし100人の村だったら」という本を元に、
新しいワークを創ってみました。
子どもから大人まで、
さまざまな世代の皆さんと一緒に
小道具を使って、
世界の現状を見る化しながら
「今」と「未来」を考えてみました。



こんな
ワークをしたよ
○○○○○

もし人口が100人だったら？

100個のピンクのボールに例えて割合を考えてみよう

Q1 今、「世界」のこどもとおとな・高齢者は、なんんずつ？

Q2 今、「日本」の場合、なんんずつ？

みんなの予想

世界では？

こども おとな 高齢者
30 : 50 : 20

日本では？

こども おとな 高齢者
10 : 57 : 33



正解

こども おとな 高齢者
世界 26 : 66 : 9
日本 12 : 59 : 29

この人口のバランス、
どう感じる？

「思い込みって、よくないなあ」
日本に居ると、日本の感覚に慣れてしまっ
世界も同じかと思ってしまうわ。

「日本だけが、イレギュラーなのかな？」
日本で高齢者が多いのは、誰でも医療を
受けられる仕組みが整っているからかな。
この状況は世界でも珍しいのかも。

「子供が少ないのってさびしいな」
日本にどう世代が少ない。

「もっと日本に
外国の人が来てくれたらいいのにな」
世界と日本のバランスを比較するとやっぱり思う。

「世界のバランスは、いい気がする」
働く世代が多いと、子どもとお年寄りを支えられるので、
大人が多いのは、良いバランスに感じる。



こんな
ワークをしたよ
○○○○○

6大陸を比べてみよう

6大陸の面積を紐で現すと

オセアニア 38 cm

ヨーロッパ 62 cm

南アメリカ 61 cm

北アメリカ 57 cm

アジア 73 cm

アフリカ 71 cm

Q3 この紐で
大陸を作ってみよう

意外と、面積は
平等に別れているように見える。

Q4 大陸ごとの
人数の割合に
分けてみよう

先進国が世界の
ルールを決めているけれど、
その人口は割合と少ないわ。

Q5 大陸ごとの
CO₂ 排出量を
ふせんで表してみよう

炭素の不等

世界の上位1%の富裕層による
CO₂ 排出量が、グローバルサウ
スの貧しい国々に住む50億人の
排出量に匹敵する。この驚くべき
事実が、国際NGOオックスファ
ムの最新報告書で明らかに。

富豪たちのCO₂ 排出量

報告書では、世界の億万長者上位
50人の消費や移動が分析されま
した。その一例を紹介します。

イーロン・マスク氏（X会長）

自家用ジェット機による年間排出
量は5497トン。これは、世界
の1人あたりの平均排出量の83
4年分に相当します。

ジェフ・ベゾス氏（Amazon 取締役会長）

プライベートジェットで年間25
日間飛行し、排出量は2908ト
ン。アマゾンの社員1人が207
年かけて排出する量に匹敵しま
す。

気候変動への影響

もし、地球上の全人類が超富裕層
並みの割合でCO₂ 排出すれば、
パリ協定で掲げる目標の炭素量
は、わずか2日足らずで底をつい
てしまうといわれています。

気候変動の影響は、特に貧しい
国々で深刻です。それにもかわ
らず、排出量は富裕層が圧倒的
に大きい。この「炭素の不等」は、
気候危機解決のために私たちが直
視しなければならない課題です。

鹿のフンが

世界を救う!?

キープ協会のガイド・田村さ
ん。森で「鹿フン」を観察し
た時のエピソード。

「鹿のエサは草。鹿は草を食
べて糞をその場に落としてい
く。その糞は草の栄養になり
来年の草になる」エネルギー
はグルグルめぐっていること
を紹介しました。

すると、話を聞いた小学生が
「スリランカでは、ゾウの糞
が高級な和紙になるんだっ
て」ゾウが街中で糞をする
と人々が回収し、それが寺院で
使う高級和紙になるそう
です。また、別の小学生が「モ
ンゴルでは、牛の糞が燃料に
なるよ」遊牧民にとって家畜
の糞は生活を支える大切なエ
ネルギーなことを教えてくれ
ました。

この話を聞いた他の子がユニ
ークなアイデアを口にしま
した。「じゃあさ、鹿の糞で
スマホを創ったらどうか？
捨てても土に還るよ」
いつもは、役に立たないと見
過しているものも、笑って
しまうようなアイデアも、
未来では世界を変える材料に
なるかもしれません。それに
気づける感性を大切にしてい
きたいです。



オセアニア以外そんなに
差はないんだね。



アジアは、面積の割に人口が多い。
貧困の問題に影響しそう。
でも、アジアが良い方向に変われば、
世界への影響を大きくできる！



アジアがダントツ多い。
でも、人口が多いアジアが
排出量も多いのは仕方ない気がする。